

平成24年度
実施事業

事務事業名	老人憩の家整備事業
-------	-----------

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	2	高齢者福祉の確立
小分類	1	長寿社会の基盤づくり
主要な施策	1	①高齢者の生きがいがいづくりの場と機会の充実
事務事業番号	010	事業開始年度 平成 8 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	「老人憩の家」を利用する市民に安全で快適に使用していただく。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	市内41箇所にある「老人憩の家」を適切に管理するため、老朽化が進み改修等が必要な施設については、指定管理者からの要望に基づき緊急性を勘案し、事業予算の範囲内で改修が必要な施設を10件程選定。当該施設の指定管理者に整備を委託する。 主な整備内容（老人憩の家 12件） ・外壁、床、大広間、屋根、玄関サッシ改修 ・道路舗装
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	「老人憩の家」を老人クラブや町内会等が快適に安心して利用できる施設として維持管理し、もって高齢者や地域住民の福祉の充実に資する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	登別市老人憩の家条例、登別市老人憩の家管理規則、登別市集会施設整備要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	10,982	9,303	8,000	8,000	8,000
事業費 合計			10,982	9,303	8,000	8,000	8,000

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 整備委託施設数	箇所	目標値	15	15	15	15	15
			実績値	15	12			
	②		目標値					
			実績値					

比較（写真等） 《 Check 》

工事前	住所		工事後
老人憩の家は建築から数十年経過した施設が多く、老朽化が激しいため毎年予算を越える数の修繕依頼が寄せられている。			傷みの激しい所を優先的に修繕しているが、修繕件数は減少する様子がない。このため地域の実情に応じ、施設の建替えや整理等の対策を予定している。

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 市の公共施設であり、適切な維持・管理が必要なため妥当性は高い。
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 「老人憩の家」は、老人クラブや町内会、その他団体等が年間を通し利用する施設であり、安全で快適に使用していただくために必要性の高い事業である。
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 多額の予算を必要とするが、毎年、指定管理者からの修繕要望が多く寄せられている。修繕件数は年間10件～15件、施設によっては、翌年まで修繕を待つ所も多く、効率性は高い。
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 「老人憩の家」を整備することにより、利用者に安全で快適に使用してもらうことで、地域住民の福祉の充実を図ることができる。

①担当グループによる評価 《 Check 》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	「老人憩の家」については、公共施設の整備方針に基づいて、整備を行なうことを基本と考えており、本事業の実施に当たっては、少なくとも今後10年程度は既存施設の活用を図る事とし補修を行なっている。これとは別に、下水整備に併せて水洗化工事も計画的に行なっている。将来的には、地域の実情に応じて中規模施設の整備などにより、既存施設は整備していく必要はあるが、それまでは、既存施設を有効に活用していきたい。尚、施設の一元管理については今後検討したい。
----	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《 Check 》

維持	備考	
----	----	--